



1979年、高圧電線の電磁波によって「小児白血病」が増加する、と言う米国の研究者の発表をきっかけに、世界各国で電磁波と人体に及ぼす影響に関する調査、研究が始まりました。



その後、子供の電磁波に対する感受性と影響は成人の数倍になると言う衝撃的な報告がなされ、世界各国で電磁波、特に携帯電話に関する対策が始まりました。



英国では「16歳未満の使用制限」が発表されました。



ドイツでは「子供から携帯電話を遠ざけるように。企業は携帯電話の広告を控えるように」という勧告が出されています。



フランスでは「妊娠の腹部や若者の生殖腺には携帯電話を近づけないように」という勧告が出されました。